

横浜グリーンエクスポ (2027年国際園芸博覧会) について

令和8年7月

農林水産省



横浜グリーンエキスポ（2027年国際園芸博覧会）概要



位置付け

・最上位の国際園芸博覧会（A1）

※ A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会（大阪市）以来、37年ぶり

・国際博覧会条約に基づく国際博覧会（認定博）

※ AIPH（国際園芸家協会）承認 + BIE（博覧会国際事務局）認定

テーマ・開催意義・キーワード

- ・テーマ：「**幸せを創る明日の風景**」
- ・地球課題の解決にチャレンジし、**新たなグリーン社会の姿を世界に発信**

**1都3県で
初の万博**

**主な来場ターゲット
5千万人**（会場3時間圏）

70程度を上回る
国・国際機関が参加

**ポストSDGs
の価値発信**

**16のテーマ型
企業出展**

**全国から380
の花緑出展**

**1千万株
の花緑**

正式略称：GREEN×EXPO 2027（グリーンエキスポ ニーゼロニーナナ）

開催場所：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設の一部）

開催期間：2027年3月19日～9月26日（192日間）

有料来場者数：1,000万人以上

開催者：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
（会長：筒井 義信＜経団連会長＞）

事業費

会場建設費：最大**417億円**

運営費：**536億円**

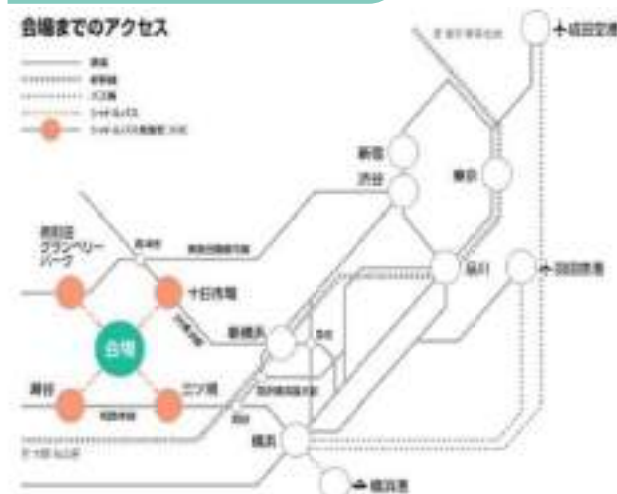
入場券価格

以下に加えて、通期パス、夏パス、夜間券などを用意

大人・1日券 **5,500円**（前売チケット 4,900円）

小人・1日券 1,500円（前売チケット 1,400円）※税込み

会場位置図



近傍4駅よりシャトルバスアクセス（約10～20分）
会場隣接駐車場、パークアンドライド駐車場あり

公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク



「人と地球の自然との新たな関係を育む
コミュニケーター」として機運醸成に活躍

- ・宇宙からきた精霊
- ・地球がきれいだと花を咲かせて踊ります
- ・地球が汚れると元気がなくなります



詳細はこちらから▶



2027年国際園芸博覧会
公式ホームページ



オフィシャルグッズ好評販売中
オンラインストア

横浜グリーンエキスポが目指す姿

- 横浜グリーンエキスポは、花や緑、エンターテインメント、グルメ等に加えて、**日本らしい文化・ライフスタイル**や、我が国の強みである**グリーン技術**を発信し、みんなが「**楽しめる万博**」を目指す。
- ← 国際園芸博の主眼は園芸産業の発展から環境、福祉等に拡大。近年、環境を巡る国際的な潮流が変化。

これまでの 国際園芸博覧会

花き・樹木・造園技術等を国際的に紹介・評価し、**園芸産業の発展を促進**

1948 国際園芸家協会(AIPH)設立
1990 大阪花博



博覧会を契機とした
まちづくり、社会課題への貢献

1993 IGA -都市と自然-
1999 昆明博-人間と自然- など



社会の健康と福祉、
環境の向上を図るための
植物利用の促進

2015 AIPH規則変更

環境を巡る国際的な潮流

● S D G s

- ・ 17目標を2030年までに達成

● カーボンニュートラル

- ・ パリ協定2030年目標

● ネイチャーポジティブ

- ・ 自然の損失を2030年までに反転
- ・ 陸域/海域の30%を保全

● サーキュラーエコノミー

- ・ 循環経済関連ビジネス市場規模を80兆円以上(2030)

横浜グリーンエキスポが 目指す姿

みんなが「楽しめる万博」へ

1000万株の圧倒的な花と緑、エンターテインメント、世界のグルメ、70程度の国・国際機関による国際色豊かな庭園・出展、16の企業パビリオン 等

横浜グリーンエキスポのテーマ：幸せを創る明日の風景



日本らしい文化や ライフスタイルの発信

自然との共生、盆栽、生け花、伝統工芸、農、食文化 等



グリーン技術の産業見本市

企業等の最先端のグリーン技術の見本市として、国際レベルでのビジネスマッチングを図り、成長投資へつなげる



出典：完全密閉型植物工場技術
「Culture Machine」
(株) プランテックスHP

会場のイメージ



会場計画

テーマ営業出店 4件

テーマに合わせた展示とともに飲食等の提供を実施。

M. JAグループ
N. 株式会社丸兆
O. 明治グループ
P. 山崎製パン株式会社



國際出展

世界各国の庭園や農・食が集結し、
世界各国の園芸文化に触れる。

参加表明のあった国・国際機関のうち、
 国名等の公表に同意した国・国際機関
 : 75ヶ国・機関

⇒ 参加する国・国際機関は、政府目標である70程度を達成

※6月4日時点



タイ(2022年アルメーレ博)



テーマ館
(協会)

屋内出展施設
【国際出展／花・緑出展
（自治体出展含む）】

催事場

園芸文化館
(協会)

日本政府苑
(国交省・農水省)

横浜市出展

UR出展

自治体出展
【屋外】

SATOYAMA Village

Village出展 12件

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツを展開。



鹿島建設

- A. 東急グループ
B. 株式会社 KTグループ
C. NTT東日本 株式会社
D. 株式会社 大林組
E. 三菱国際園芸博覧会総合委員会
F. 鹿島建設 株式会社
G. 大和ハウス工業 株式会社
H. 東邦レオ 株式会社
I. 竹中グループ
J. 住友林業 株式会社
K. 相鉄ホールディングス 株式会社
L. 清水建設 株式会社

花・緑出展 380件

花と緑のプロフェッショナルが、庭園や花壇、生け花や盆栽、新品種・希少種等、多種多様な花・緑の作品を出展。

出展内定者:380件(全都道府県・政令指定指定都市、屋外出展
179件、屋内出展(全期間)21件、屋内出展(短期間)215件
(※屋外出展、屋内出展の重複あり、出展内定者を含む。)



大阪府・大阪市・堺市

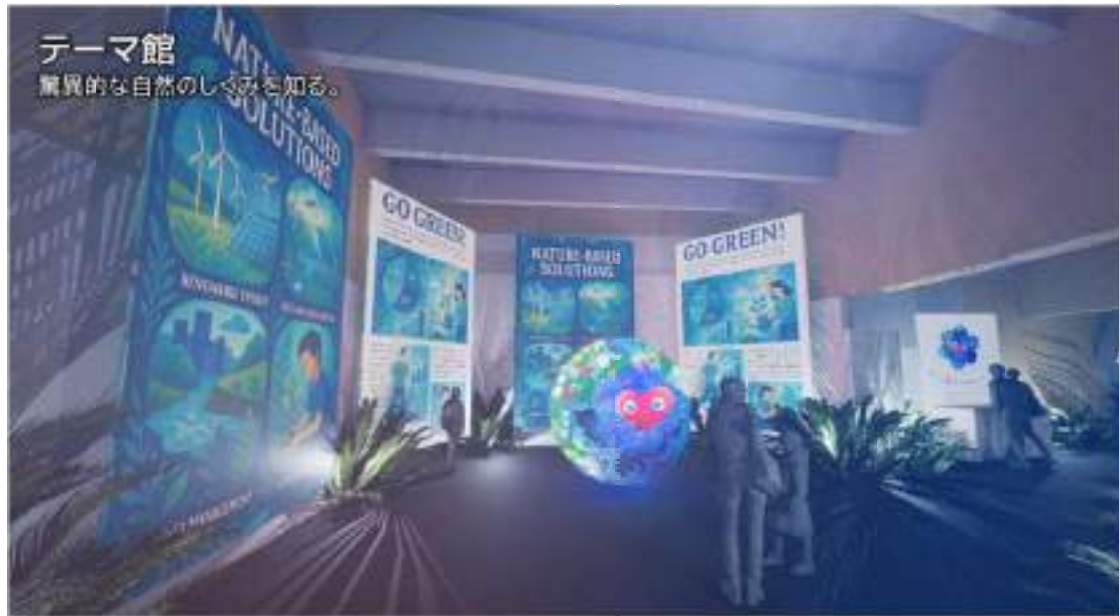
「いのちの輝き、水と緑がつなぐ大阪の庭」

主催者展示①（テーマ館）

「全ての生命はつながっている。植物を中心に」をテーマに、植物たちの知られざる能力と、生命同士の複雑で巧妙なつながりを「映像技術&研究結果」×「アート&エンターテインメント」の掛け算により、感動とともに届けていく。



（テーマ館俯瞰イメージ）



（展示イメージ）

主催者展示②（園芸文化展示）

江戸時代に発展した園芸文化を
「知り・感じ・未来へとつなぐ」をコンセプトとした施設。
江戸の植木屋・花屋敷の再現空間や日本と海外の園芸植物
のつながりに関する映像シアター、伝統的な園芸植物の生体
展示など、日本の園芸文化を楽しみながら体感。



（園芸文化館俯瞰イメージ）



（江戸の園芸文化イメージ）

Village出展 概要



Village出展とは

市民や企業など多様な参加者が、コンセプトを共有しながら「幸せを創る明日の風景」を創り上げる共創事業。GREENの力と産業活動が融合した姿を示し、「幸せを創る明日の風景」を感じさせる屋外空間(庭園、広場等)や展示施設で、独自の体験やコンテンツを提供いただきます。(出展内定者:12件)

◆出展構想イメージパース

25年10月29日: 第1弾として8者を公表

26年 3月19日: 第2弾として4者を公表



テーマ営業出店 概要



テーマ営業出店とは

庭園や広場などの屋外空間と営業施設を整備し、博覧会のコンセプトを発信する飲食・物販などの独自営業を行うとともに、来場者と共に“幸せを創る明日の風景”を体験・共創する場を提供します。（出店内定者：4件）

JAグループ



国産の農産物の魅力や、日本の食と農について触れていただける時間を提供します。

明治グループ



未来のふるさとが、ここにある。
自然の恵みを享受して成り立つ明治グループの取組の原点、里山を見に来てみませんか？
国産の農産物の魅力や、日本の食と農について触れていただける時間を提供します。

株式会社丸兆



小さな命のつながりを体感し、
自然と食の未来を考えるきっかけを届けます。

ヤマザキパングループ

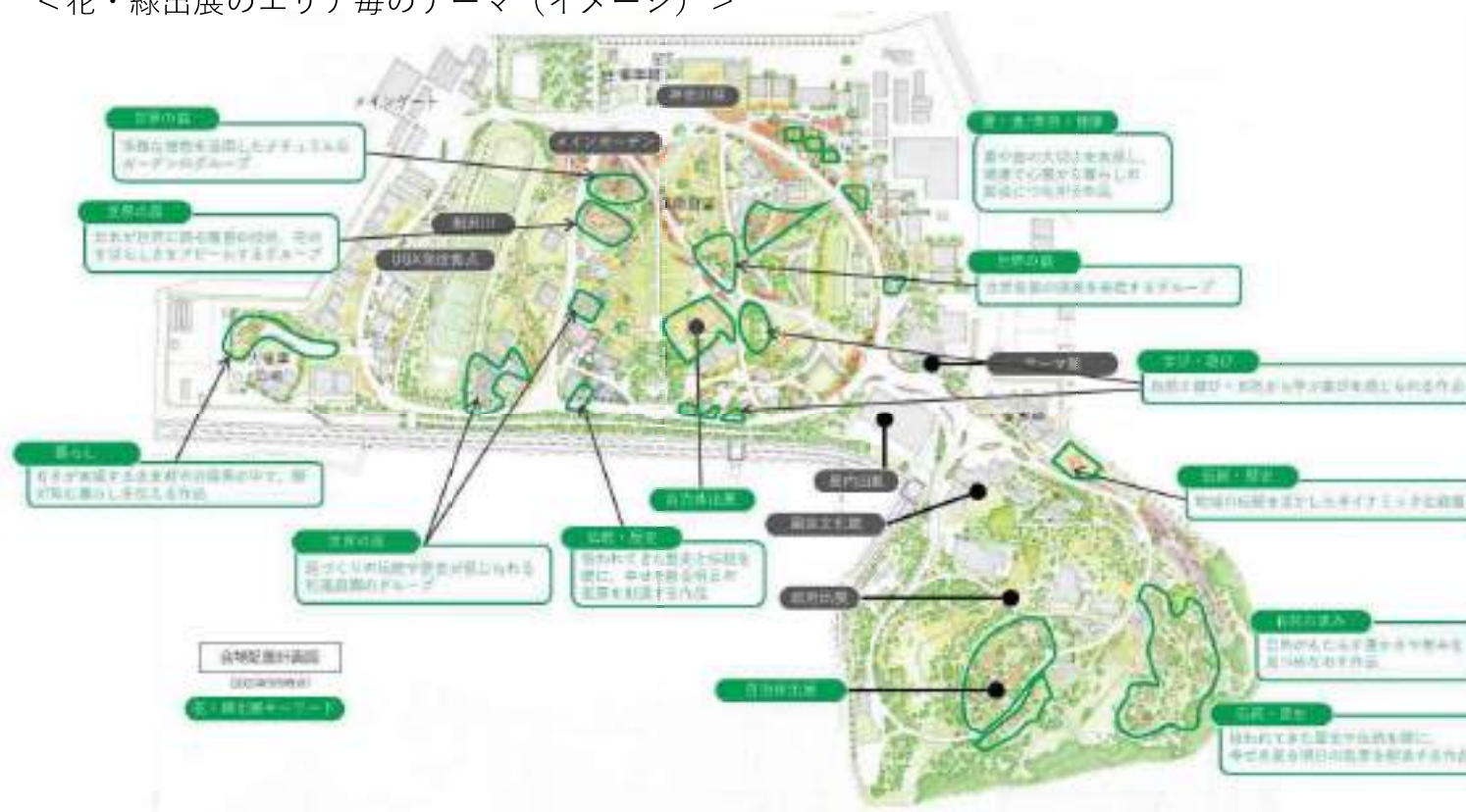


毎日の食卓に対する安心と、明日やその先の未来の食卓に対する期待を、展示や体験を通じて感じてください。

- GREEN×EXPO 2027の会場では、1000万株の花や緑が咲き誇り、来場者の皆様を「地球旅行」へお迎えします。
- 「花・緑出展」では、花と緑のプロフェッショナルが、ここでしか見られない庭園や花壇、生け花やフラワーアレンジメント、盆栽、新品種・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展。美と技術の競演として、会場内を彩ります。

※「屋外出展」と「屋内出展」あわせて、380の者が出展者として内定

< 花・緑出展のエリア毎のテーマ（イメージ） >



（屋外出展）

食や環境への取組に関する庭園や花壇作品などを展示



（屋内出展）

屋内庭園、フラワーアレンジメント、生け花、盆栽、農作物などの作品を展示

花・緑出展 概要



花・繭出展とは

花と緑のプロフェッショナルが、ここでしか見られない
直販や花壇、生け花やフラワーアレンジメント、盆栽、観
音草・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展する。
愛と技術の競演。

- ◆出展区分
屋外出展(全期間)、屋内出展(全期間・短期間)
◆出展内定者数 381件

株式会社 サカタのタネ

植物の成長に欠かせない光の不足は、葉の黄化や徒長を招き、果実の収穫量や品質に悪影響を及ぼす。また、光不足は植物の免疫力を低下させ、病害の発生リスクを高める。光不足を解消するためには、適切な照明の設置や、光の強度や波長の調整が必要となる。



宗良渠

俳優で文藝批評家の
チャーサーとくんと対面
三書庫の上のチェアで
対談。万葉集に採れた
朝露をチャーサーとし
て演出。夜更けの静け
さの中。



神戸市

近頃、愛媛を中心とする道南
地域に、和洋折衷の町が立ち
上り、森林・大山の間に土ま
の道を走り上る「道の駅
「道の駅」の町が立ち上る



(仮称)石巻エクステリア(東急不動産グループ)

ありと表に2127、
裏表10年、裏裏100年、表土
1000年を越に、地球、我が國
運を永久に、世福運に致し
て、もつる自然と神聖な恩の
御業を讃仰。



株式会社 ハイボネックスジャパン

●日本の世界に無関係なまま、保持の立場の喜劇となる「探偵ミステリア」も同様



住友林業緑化株式会社

後、く先達の在野の歴史"を
「遺稿」の前後」を所収
とし、新刊の文庫本は
先達に受け継がれ、また、



一般社団法人 JFTD 是キュービッド

2007 10 24 21:19 生虫場ノ調査
 生虫場ノ生虫場へ 2007 10 24 21:19 2007 10 24 21:19
 (2007) 10 24 21:19 生虫場ノ調査



公益財団法人

自然の恵みを感じ、中庭に、今更
に成木「いけいけ」喜ぶの姿が



結算額

同群去年進出毛半千一丁といたが、重宝中
同、水虫九、脚付、信託費、心、結、生、東、東



沖縄美ら海水族館
(一般財団法人 沖縄美ら島財団)

道と道でジョーベンダグのイッ
かなと涙は泣き物はないよ
と悲観、ジョーベンダグに会
うのは遠くを歩きます。



ベルグアース株式会社

「『たぐいさま』の巻の初めに、多くの人は夢や自然の力、大地の恵み、動物植物の多様性に育ち、つながっている世界に感謝することを知ることが大切です。」



★分類

[illegible]

靜岡市

近代を創る革命家として知られていました。
熱心な自然、文化、産業、
近代化の発展を推進しました。



<公表> レストラン・カフェ等の飲食・物販提供者（営業出店者）（2026年6月22日公表）



○会場内において、レストラン・カフェ等の飲食やお土産・物販を提供する出店者を公表。

環境負荷低減など持続可能性に配慮しながら、世界各国の飲食、GREEN×EXPO 2027オリジナルメニューなど、来場者の多様なニーズに対応したメニューを提供。花や観葉植物、ガーデニンググッズ等の園芸関連商品の販売を行うグリーンショップも出店。各店舗詳細は今後公表。

<ゲート周辺>

白ハト食品工業株式会社
日比谷花壇グループ
株式会社ローソン

<バックヤード>

株式会社ローソン

<Farm & Food Village>

HRTニューオータニ株式会社
株式会社崎陽軒
KOTIホールディングス
シーザースキッチン株式会社
白ハト食品工業株式会社
鈴廣かまぼこ株式会社
TDM 1874 Brewery（株式会社坂口屋）
チーズガーデン（株式会社庫や/コロワイド）
株式会社初亀
株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ
山崎製パン株式会社
リビングホスピタリティジャパン合同会社

<SATOYAMA Village>

白ハト食品工業株式会社
ポルトガル・トレード株式会社
（共同運営パートナー：薪窯パンLisboa）

<Urban GX Village>

株式会社エイト
ADNJ - Africa Diaspora
Network Japan
神奈川県パン協同組合連合会
京丹波
株式会社銀座仁志川
ケンミン食品株式会社
シーザースキッチン株式会社
白ハト食品工業株式会社
まねき食品株式会社
株式会社ローソン

<Craft Village>

株式会社初亀

<Kids Village>

株式会社ありあけ
シーザースキッチン株式会社
株式会社トゥーバトレーディング
株式会社ファミリーマート
横浜パニラ株式会社
リビングホスピタリティジャパン合同会社

<会場内モビリティ営業出店>

泉陽興業株式会社
株式会社マクニカ
湘南貿易株式会社

<会場内パーソナルモビリティ営業出店>

WHILL株式会社

©Expo 2027

「null⁴」プロジェクトを開始します！



- 大阪・関西万博からのレガシー継承、本博覧会の魅力や価値向上に資する事業として、大阪・関西万博において落合陽一氏が手掛けた「null²」のコンセプトを継承・発展させた、新たな生命彫刻館「null⁴」（テトラル）を、落合陽一氏のチームと共に整備します。
- 自然と人の共存する暮らしの良さを表現するエリアであるSATOYAMA Villageに位置し、これまで継承されてきた日本人の自然観と、現代のデジタル技術と融合した計算機自然として、発信します。

2026年6月19日(金)よりプロジェクト協賛の募集を開始しました

〈協賛内容〉

「null⁴」プロジェクトの整備、運営管理に必要な役務・物品・資金の提供を通じて、GREEN×EXPO 2027を盛り上げていただける企業等との協創を求めます。

・整備に関する協賛

例：オブジェクトの躯体や作動機工に関する設備
映像機器（サイネージ）、音響設備
植栽修景（材工共）、整備工事、内装工事

・運営に関する協賛

例：警備、清掃
スタッフ用ユニフォーム
来場者誘導に関する物品・役務

・これらに必要な資金

〈問合せ先〉

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 テーマ催事部 テーマ催事課
E-mail: theme-event@expo2027yokohama.or.jp



位置図



null⁴のイメージ ©Yoichi Ochiai



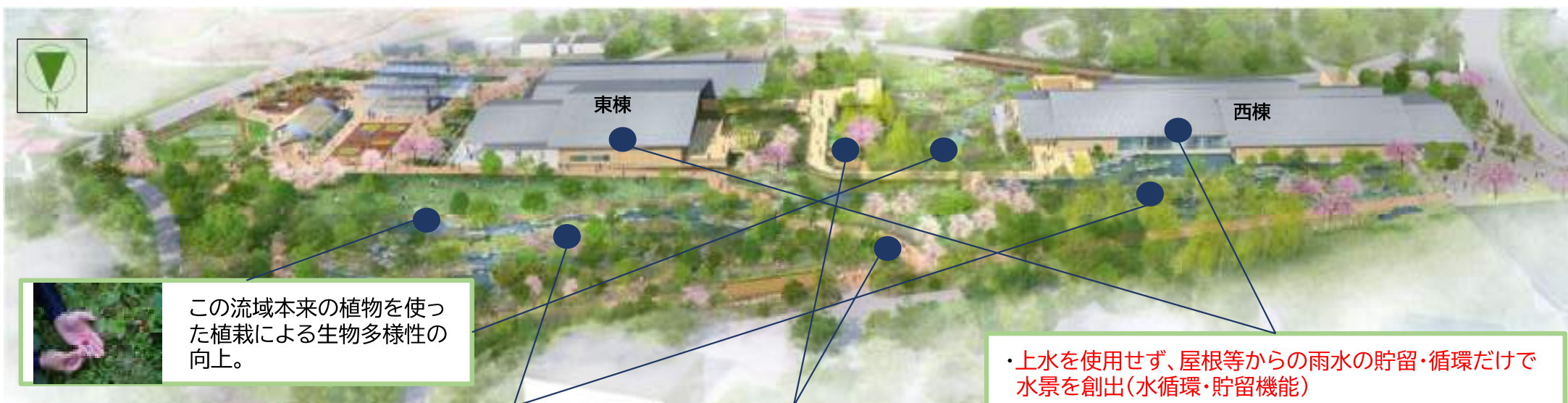
©mitsutoshi watanabe

落合 陽一氏
メディアアーティスト

**日本政府苑
農林水産省における取組
（イベント、展示等）**

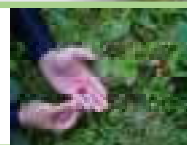
日本政府苑

- 2.5ha(東京ドームの約半分)の広大な区画に、屋内外を一体的に構成(「庭屋一如」)した「日本政府苑」を出展。
- 和泉川の源流部を挟んで東西に分棟した木造建築と、伝統的造園技術等を活用した庭を整備。種々のグリーンインフラを配置しつつ、“日本の自然観”をテーマに、人と自然が共生した里山の風景を表現。



東棟

西棟



この流域本来の植物を使った植栽による生物多様性の向上。

- ・ 自然素材を活かした石組や竹垣など、伝統的造園技術を継承
- ・ 開花時期の異なる、地域にふさわしい14種のサクラを植樹



「令和日本の庭」イメージ

- ・ 苑路は、敷地内の竹を活用した竹チップ舗装(暑熱緩和)
- ・ 自然と調和した草屋根(暑熱緩和)



草屋根の休憩舎イメージ

- ・ 上水を使用せず、屋根等からの雨水の貯留・循環だけで水景を創出(水循環・貯留機能)
- ・ 大雨時は雨水を地下にゆっくり浸透させることで、下流への急激な流入を緩和(浸水対策)
- ・ 土壁など日本の伝統技法を活かした意匠の採用



自然と人間との共生の景を、日本政府苑の地形や水の流れ、植物などを表現する緩やかな曲線を用いて表現。

日本政府苑 屋内展示（西館/東館）

○ 屋内展示では、自然とともに歩んできた我が国の花やみどり、食、暮らしについて、これまで培ってきたもの、今ある危機を乗り越えた将来の姿を展示。

具体的には、

- ・前半（西館）では、我が国の原風景と、自然と共生し時に相対する中で生まれた知恵や技を来場者に感じていただく一方で、
- ・後半（東館）では、来場者が気候変動などの地球規模の課題を自分事とし、再認識した上で、我が国の技術や取組により、課題解決が果たされ、将来にわたって自然と共生社会が実現できることを学べる構成としている。

日本政府苑全体図



■日本の原風景を巡る旅

- ・日本各地の自然風土を体感できるシアター

■自然との対話が昇華した文化

- ・建物の中から眺める庭園
- ・宮内庁所蔵の盆栽
- ・各流派の家元などによるいけばな



＜展示盆栽例＞
樹種：黒松 銘：鹿島
樹齢：390年
1970年日本万国博覧会にも
出展された歴史的価値の高い
盆栽。



＜展示いけばな例＞



立花（りっか）



自由花（じゆうはな）

■みどりで実装する、自然共生の明日

- ・産学官連携等も通じ、各府省庁が推進する
GREEN×EXPO 2027のコンセプトに沿う実装・実証技術を発信

■自然共生社会の未来を感じる実践フィールド

- ・スマート農業を中心に、屋外フィールドで「農のある暮らし」を実感

植物工場



世界初のモジュールタイプの完全閉鎖型植物工場の実機

3Dフードプリンター



アップサイクル素材を活用した3Dフードプリンター

気候変動、生物多様性等の

自然資本をめぐる地球規模の課題を解決する

「新技術立国」の姿を提示

陸上養殖



ニホウナギの完全養殖技術を解説

バイオマスマテリアル



バイオガスから水素を製造

ロボット農機の実演・体験



小型電動トラクターや自動追従型運搬機のデモ運転や、来場者が自動追従を実際に体験

ゼロエミッションハウス



ペロブスカイトや有機薄膜の太陽光電池による創エネを組み入れ、化石燃料使用を極力抑制した農業用ハウス

国産農業用ドローンの展示



グリーン技術の例（調整中）

“土に還る”ユニフォーム



（出典：株式会社ピエクレックスHP）

- 人の動きで微弱な電気を発生させ、化学薬品を使わず、抗菌効果のある衣類
- 使用済衣服は、自然分解して堆肥となった際、土壌を汚染しない

植物工場



（出典：株式会社プランテックスHP。図はイメージ。）

- 植物の生育に最適な環境（光、CO2濃度等）を自動制御で作り出し、年間を通して計画生産できる。
- 完全閉鎖型のため、異常気象や自然災害の影響を受けずに安定栽培を実現。

資材再利用率99%の建築



ハイブリッド木造仮設事務所のイメージ

（出典：株式会社竹中工務店HP）

- 素材のいのちかたちの循環、をテーマに、設計・施工から解体に至る過程で、資材の再利用率99%を目指す。
- 建設現場では、ハイブリッド木造仮設事務所を初適用し使用後は他現場での再利用や建築物、家具へ転用。

次世代型太陽電池



ペロブスカイト太陽電池
（出典：環境省資料）



有機薄膜太陽電池
（画像提供：株式会社MORESCO）

- フィルム状太陽電池。軽量でフレキシブル。特に薄膜は、高い透明性、色を自由に選べる。
- 国産調達可能な素材で構成され、経済安全保障上も有用。

展示、イベント、技術実証等の取組（調整中）

エキスポ会場内のドライブ＆空中散歩

- エキスポ会場のパビリオンや植栽をリアルに再現する3D都市モデルを構築し、四季折々の会場内を、ドライブシミュレータや空中散歩で周遊する体験を提供。
- 3D都市モデルを使い、開幕前から、人気ゲーム「マインクラフト」上で会場を体験できるオンラインコンテンツを制作。



ドライブシミュレータ
(イメージ)



3D都市モデルのイメージ

グリーンインフラ・クエスト

- 会場内に実装された雨庭などのグリーンインフラを判別し、その効果を解説するスマホアプリを開発。
- 冒険ゲーム感覚で会場を巡り、楽しく自然のチカラを学ぶ。



ゲーム体験のイメージ



(出典: 株式会社バイオームHP)

スマホアプリのイメージ

先進的なEVモビリティの導入

- 自動運転車両などの事業に取り組む企業とともに、先進的なモビリティ体験を提供予定。
- 来場者輸送の軸となる最寄駅からのシャトルバスについて、国産EVバスを活用。



国産EVバス車両



※本イラストはイメージ図

下水汚泥資源の肥料利用の取組発信

- 国内資源としての下水汚泥の肥料利用の取組について、地方公共団体等とともにパネルや肥料の実物展示を実施し、最先端技術も発信予定。
- 下水道資源を有効利用して作られた食材(じゅんかん育ち)の展示、試食会等も今後検討。



下水汚泥資源を原料とした肥料



展示・イベントイメージ

ご協力をお願いしたい事項

1. 協賛

- 本博覧会の価値発信を行うとともに、企業価値の向上・発信に寄与する共創の仕組みとして、GREEN×EXPOにおけるプロジェクト・催事等への資金協賛や博覧会運営に必要な物品、役務、技術等の協賛提供をいただくもの。
- 協賛企業には、規模等に応じて協賛特典（呼称権、名称表示、公式ロゴマーク・キャラクター使用、式典への招待など）を提供します。

【プロジェクト例】企業技術等を生かした暑熱対策／博覧会を彩るナイトショー・夜間演出／企業理念と合致するフォーラム開催／開催に向けた機運を醸成する大規模な広報・プロモーション等

2. 人材派遣

- 本博覧会の運営に必要な人材を派遣いただくもの。
- 大規模プロジェクトを共に創り上げる博覧会独自の経験と、様々なバックグラウンドを持つ多彩な人脈を得て、将来のビジネス展望の広がりにつながります。

【特に必要とする人材】プロモーション・マーケティング／イベント・催事企画／企業協賛・連携／国際出展・会場整備工事管理／海外参加国調整／ネットワーク・サイバーセキュリティ／クリーンエネルギー供給／食・アグリテック・フードテック関係

3. 前売入場チケット

- 本博覧会の機運醸成、来場促進につながる前売入場チケットを購入いただくもの。
- 社員の福利厚生や取引先との関係強化、商品の販売促進や景品等にご活用いただけます。
【価格】大人1日券 5,500円（前売：4,900円）
小人1日券 1,500円（前売：1,400円）
- 購入枚数に応じた大口割引（2～5％）を設定しており、令和8年9月30日までに申し込みをした場合は、さらなる割引（3～6％）がごございます。

4. 寄附

- 本博覧会の開催準備を進めるための御支援としてご寄附をいただくもの。
- 指定寄付金控除等の税制上の優遇措置を受けられるほか、企業版ふるさと納税も活用いただけます。
- 本博覧会の会場建設費（最大417億円）のうち、3分の1（約139億円）を寄付金等による民間資金で負担することが閣議了解されております。

5. テーマ館事プログラム事業

テーマ館事プログラムプロジェクト



会場内の展示施設を中心に、「GREEN×EXPO」が掲げるテーマに関連し、協会や各省庁等が連携し様々なプログラムを展開する
テーマ館事の運営

■1つのサブテーマ

①自然との調和、②緑や農による共存、③新産業の創出、④循環による解決に向けた内容について、展示・館事・イベント・フォーラム等を実施。

■テーマ館事の実施テーマ例

- ・都市・ライフスタイル「自然とともに暮らす未来の都市」
- ・食と農の未来「いのちをつなぐ食と農の新しい価値」
- ・グリーン産業の未来「環境価値を基盤とした未来産業の創出」

(実施のイメージ)

テーマフォーラム実施



テーマ関連の技術展示会



テーマ関連の館事イベント



資金協賛
テーマ館事の編成や企画等に係る運営資金への協賛
一口：3千万円～5千万円

各付随館事の実施場所として想定する会場



6. 子ども向け水遊び施設設置事業

子ども向け水遊び施設設置プロジェクト



子供向け水遊び施設の設置

- 夏の暑さ対策だけでなく、アタッチメントの取り外しで会期中を通じ、異なる遊具の整備
- 親子連れの水遊び者をターゲットとし、四季に合わせた楽しみ方を展開

(実施のイメージ)



水遊びポンプ



押し出しスライダー



シャワー水銃

資金協賛
または物品・役務協賛
一口：5千万円～

夏休みのイベント・施設利用を基本としつつ、資金協賛も受け

想定箇所：Kids Villageを予定



7. 貴賓室等VIP接客用品整備事業

貴賓室等VIP接客用品整備プロジェクト



国内外の貴客を迎え入れる接客施設を整備する

■主な整備項目

- ・貴客の会場内移動手段（乗用、カート）
- ・接客施設内装飾（照明、家具、生け花等）
- ・接客施設内付具（応接セット、煎茶設備等）
- ・レセプション用食器、酒器等
- ・接客施設エントランスの緑化

資金協賛
または物品・役務協賛
総額：3億円

(整備項目のイメージ)

会場内移動用
乗用・カート



貴賓室用家具
(ソファ等)



内装イメージ

接客施設内
照明設備



接客施設
エントランス緑化



想定箇所：会場内接客施設2ヶ所
（テーマ館事現場、協会別棟）
乗用は主に貴客乗用、カートは主に業務用運行



8. 植物の魅力向上事業

植物の魅力向上プロジェクト



主催者・出展者が設置する花壇・庭園等の植物を管理する

■花壇・庭園等の植物管理に関する協賛

- ・灌水作業等の植物維持管理作業
- ・花壇や芝生に施す肥料や植物の維持管理に用いる資材

■会場内に設置する植物を一時的保管する施設に関する協賛

- ・パイプハウス、造景機、作業用照明、寒風対策の資材
- ・会場内で植物輸送や資材搬送に用いる牽引車等

■植物の魅力向上施策に資する取組に関する協賛

資金協賛
一口：1千万円～
(灌水作業等の費用)

所定協賛を基本とし、資材・運賃等の物品・役務費がある場合は記入可

(実施のイメージ)



想定箇所：会場外



9. 広報協賛による機運醸成・広報事業



本協会における企業広告協賛は、「既に有償で販売されている広告媒体を無償で提供いただき、提供内容に応じた特典を付与する形での協賛」をお願いしております。



ご提供いただく媒体の料金・期間に応じた合計金額により、協賛企業様のステータスが決定
そのステータスに応じて、各種インセンティブを使用することができます

9. 広報協賛による機運醸成・広報事業

機運醸成プロジェクト



広告枠の提供による機運醸成・広報発信

■広告枠の提供等により、多くの方へ効果的な広報発信

- ・ラッピングトレイン
- ・大規模駅における広告枠
- ・商業施設におけるサイネージ
- ・映像発信（CM枠）

想定箇所：鉄道・主要ターミナル、商業施設等

（実施のイメージ）



協賛者には、参加形態（プロジェクト協賛・一般協賛）や金額規模に応じて、次に掲げる特典の一部又は全部の提供を予定しています。また、特典の範囲や利用方法については、今後順次公表します。

① 呼称権

GREEN×EXPO 2027との関わりを示す呼称を表示する権利（ただし商品への使用は除く）

② 会場内名称表示権

社名等を「提供物品」や「協会が用意する媒体」へ表示する権利

③ 公式ロゴマーク・キャラクター使用権

「自社使用品（名刺・封筒等）」や「企業・団体広告」等に使用する権利

④ 式典等への招待

主催者が開催する式典等への招待

⑤ プロジェクト協賛独自特典

プロジェクトおよび協賛内容ごとに設定する特典

ランク分け（参考：大阪・関西万博との比較）



税抜	GREEN×EXPO 2027	大阪・関西万博
15億円以上	①ダイヤモンドパートナー	①プラチナパートナー
10億円以上		②ゴールドパートナー
5億円以上	②プラチナパートナー	③シルバーパートナー
3億円以上	③ゴールドパートナー	④ブロンズパートナー
1億円以上	④シルバーパートナー	
1千万円以上	⑤ブロンズパートナー	⑤パートナー/サプライヤー
1千万円未満	⑥パートナー/サプライヤー	

協賛特典イメージ



特典 ランク	呼称権	会場内 表示名称権	公式ロゴマー ク キャラクター 使用权	式典への招待	独自特典	
ダイヤモンド パートナー	GREEN × EXPO 2027 + ランク名					
プラチナ パートナー						
ゴールド パートナー						
シルバー パートナー				—		
ブロンズ パートナー						
パートナー サプライヤー						

2. 人材派遣

- GREEN×EXPO協会では、民間企業等の皆様に、博覧会の準備・開催運営を担う人材の支援をお願いしており、来年4月までに100名の増員を目標としています。（特に若手職員・女性職員）
＜民間企業等からの出向者：72社・87名（25年12月時点）＞
- 博覧会業務で得られる知見・人脈は、とても貴重です。
ご検討の程、お願いします。

* 出向期間の例：2026年4月から2028年3月まで（2年間）調整可

協会・博覧会業務で得られる知見／人材支援の利点

- 大規模国家プロジェクトへの参画
世界にグリーン社会のあり方を提示する、来場者1000万人以上を目指す大規模国家プロジェクトの準備段階から参画
- 他ではできない博覧会業務を通じた人材育成
国内外のステークホルダーとの調整、大規模イベントの開催運営などの経験は博覧会業務ならではの。
- 行政、民間企業等との人脈構築様々な業界・業種の民間企業
国家プロジェクトの成功を目標に、国や自治体、などから幅広い人材が結集。
- 企業版ふるさと納税の活用
横浜市へ企業版ふるさと納税の寄附をいただいた場合、寄付額の最大9割について税の軽減効果を受けることができます



会場運営

来場者サービス、環境整備、スタッフ管理、ボランティア動員、サイバーセキュリティ対策、会場内物流の調整、通関業務 など

行催事・儀典

行催事の企画・運営、賓客接遇（ロジ調整、お出迎え、接遇、アテンド、お見送り） など

国際関係

公式参加国出展支援（OSS、カントリーマネージャー）、フレンドシップ事業（地域交流）、国際機関対応 など

機運醸成

広報・プロモーション、広告宣伝、入場券、報道対応、プレスセンター運営、場内ストア運営 など

総務人事・その他

内部監査、企業法務（法人運営、契約書等のリーガルチェック）、労務、給与計算（国、自治体、民間等）、秘書業務、寄附・協賛依頼（法人向け営業活動経験者） など

展示・出展

テーマ館・園芸文化館の運営、政府展示運営、出展者支援・調整、出展コンペ（企画・運営・表彰） など

環境対策・新技術連携

サステナビリティ（資源循環、ISO対応等）、スタートアップとの新技術連携（農と食） など

交通対策

会場周辺の交通需要調整、行動変容を促す取組、シャトルバス運行、P & R運営、バス車両・運転手確保 など

整備・維持管理

調達植物（1000万株）の監理、会場整備、建物整備、維持管理、解体撤去の企画・調整 など

参考：出向概要



出向概要		組織	業務内容
組 織	2室 14部 24課	推進戦略室	博覧会事業の推進戦略、全体統括
職員数	265名（2025年12月15日現在） ※国、神奈川県、横浜市、民間企業により構成 ※多様性のある職場づくりに向け、 若手職員、女性職員を募集	総務部	総務、人事、労務、儀典等
所在地	協会事務所：横浜市中区住吉町1-13 松村ビル本館 上瀬谷整備事務所：横浜市瀬谷区瀬谷町5810-6 ※博覧会会場内に移転する部署あり（検討中）	財務部	財務、資金調達等
期 間	2028年3月31日まで ※期間の調整可	企画調整部	企画、調整、市民参加、ボランティア
求める人物	協調性があり、前向きに業務に取り組んでくれる方 前例のないこと、様々な状況変化に柔軟に対応できる方	サステナビリティ推進部	サステナビリティ、環境対策
給 与	出向元負担 ※協会業務にかかる出張旅費は協会で負担	機運醸成部	広報、プロモーション、広告宣伝、VI活用、入場券
勤務条件	勤務時間：8時45分～17時30分（休憩時間12時～13時） 勤務日：月～金 休 日：土日、祝日、年末年始（12/29～1/3） 休 暇：協会規定を適用 ※年休付与日数・条件は出向元制度を適用 ※会期中の勤務条件は検討中	国際部	出典支援、参加招請、フレンドシップ事業、国際機関対応
社会保険	健保年金：出向元の制度適用 子ども・子育て拠出金：出向元負担 労 災：協会負担	整備部	会場・建築整備、工事監督等
福 利 厚 生	出向元の制度を適用 ※健康診断を含む	交通対策室	交通対策、輸送対策、P & R等
		事業部	Village、協賛、営業参加、行催事
		運営部	運営統括、会場管理（来場者サービス等）、ICT、安全対策、物流、通関、保税等
		展示部	展示全体調整、テーマ館、園芸文化展示、展示協賛、政府出展
		出展部	出展全体調整、花・緑出展、コンペティション
		植物部	植物監理・調達・検疫

横浜市の企業版ふるさと納税を活用する場合、出向概要が異なります。
詳細は協会人事課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 GREEN×EXPO協会人事課 045-307-2067 jinji@expo2027yokohama.or.jp

3. 入場チケット



(単位：円)

券種	概要	大人 (満18 歳以上)	中人 (満12～17 歳)	小人 (満4～11 歳)
1 日券 (通常価格)	いつでも 1 回入場可 (会期中のみ販売)	5,500	3,300	1,500
1 日券 (早割価格)	いつでも 1 回入場可 (開幕前日まで販売)	4,900	3,000	1,400
夜間券	いつでも17時以降に、1 回入場可 (会期中のみ販売)	3,500	1,900	900
特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1 名まで購入可能で、いつでも 1 回入場可	2,800	1,700	800
通期パス	いつでも何度も入場可	28,000	16,000	6,500
夏パス	夏期 (7/1～8/31) に何度も入場可	12,000	7,000	3,000

券種	概要	高校生	小中学生・園児
学校団体割引	学校団体がいつでも 1 回同時入場可	1,700	900

チケット購入の大口割引について

購入枚数（枚） ※ 1回の購入につき	割引率（％）	
	～2026.9.30申込迄 購入キャンペーン	10. 1～
100～10,000	3. 0	2. 0
10,100～20,000	3. 5	2. 5
20,100～40,000	4. 0	3. 0
40,100～60,000	5. 0	4. 0
60,100～	6. 0	5. 0

✓早期購入のメリット

早割価格（5,500円→4,900円）に加え、**購入枚数に応じて割引（3～6％）**

【お受け取りいただけるチケットの種類】

- ① 電子チケット（チケットID）
- ② 紙チケット（単色）



価格：チケット代金+100円/枚（税込）
 素材：紙素材 サイズ：カードサイズ
 表面：単色 裏面：モノクロ

- ③ 紙チケット（カラー）



価格：チケット代金+180円/枚（税込）

素材：紙素材 サイズ：カードサイズ
 表面：カラー 裏面：カラー

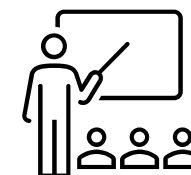
紙チケット（カラー）に限り、裏面に**貴社名/貴社ロゴ**を印字可能です。
 お申込みサイトにてデータを上アップロードください。

入場券の活用方法（例）



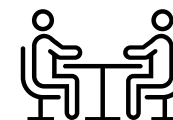
◆従業員向け、社員教育活用

- ✓ 福利厚生の一環として、自社及び関連会社の従業員へ配布
- ✓ 労働組合・健康保険組合等におけるイベント活用
- ✓ 社内研修としての来場



◆ステークホルダー向け活用

- ✓ 取引先との関係強化を意図した活用
- ✓ 販売店等の優績表彰記念品への活用
- ✓ 株主優待制度への採用



◆自社商品販売促進キャンペーン活用（景品利用）

- ✓ 商品購入特典プレゼント・応募型キャンペーンの実施



申込方法



100枚以上ご購入の方は、GREEN×EXPO2027入場券販売管理センター直販チケットお問合せ窓口（下記URL）からお申込みください。
下記お申込サイト内にはマニュアルや規約等も掲載しておりますので、必要に応じてご参照ください。

○ 直販チケットお申込サイト

<https://actualticket.2027tkc.com/n/form/ee/pb/ppLWu8JHK5a4vahhaQ5yk>



※ **1券種1種別100枚以上100枚単位でのご購入をお願いします。**

記入方法

購入した電子チケット（チケットID）から紙チケットへの変更を希望する場合は以下にチェックをお願いいたします。

☐ 購入した電子チケットから紙チケットへ変更を希望

企業名

所属する団体名

ご紹介企業団体 訪問権

チケット購入にあたりご招待いただいた企業団体を記載ください

「所属する団体名」のご記入をお願いします。

○ お申込に関するお問合せ

GREEN×EXPO2027入場券販売管理センター
直販チケットお問合せ窓口

Tel : 03-4226-9498

Mail : actualticket@2027tkc.com

99枚以下のご購入の方は、こちらからお申込みください。
※お受け取りいただけるチケットの種類は電子チケット（チケットID）のみです。

- ①購入URLにアクセスしログイン
<https://ticket.expo2027yokohama.or.jp/partner/>
- ②パートナーコード（Q006）を入力し、「パートナーコードを使用して購入」を押す
- ③「来場日時を指定せずに購入する」から購入操作を進める



Q006

※必ず事前のアカウント登録が必要となります

「パートナーコードを使用して購入」を選択

「Q006」と入力してください。
「すべて半角で0は数字のゼロ」

画面上部に「パートナー」と表示されます。

「来場日時を指定せずに購入する」を選択

「来場日時を指定せずに購入する」を選択

4. 寄附



協会への寄附
(企業・団体)

寄附金等申込書を協会へご提出いただき、受入基準を満たした場合には、
協会の指定する銀行口座へのお振込みとなります。

税制上の措置

【指定寄附金】

指定寄附金（法人税法第37条第3項第2号）に該当するため、
全額損金算入することができます。

【特定公益増進法人に対する寄附金】

特定公益増進法人の主たる目的である業務に関連する寄附金（法人税法第37条第4項）に該当するため、
損金算入限度額まで損金算入することができます。

企業版ふるさと納税による
横浜市への寄附
(企業・団体)

寄附申込書を横浜市へご提出いただき、受入基準を満たした場合には、
納付書により所定の金融機関でのお支払いとなります。

※ 企業版ふるさと納税として横浜市の「GREEN×EXPO 推進事業」にご寄附を
いただいた場合、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が実施する
博覧会開催の費用に活用させていただきます。
なお、横浜市内に本社(地方税法上における主たる事務所又は事業所)が所在する
企業・団体のみ、企業版ふるさと納税による寄附を行うことができます。

税制上の措置

通常の損金算入措置に加え、法人関係税（法人住民税、法人税及び法人事業税）について、
税額控除の特例措置を受けることができます。

ご住所		
寄附お申出額	金 円	
寄附ご予定時期	年 月 頃	
ご希望の活用方法	☐ 会場建設関連 ☒ 会場運営関連 ☐ 推進活動・広報関連	
(備考)		
公表に関するご希望 (横浜市ウェブページ等における公表)	☐ 企業名及び寄附金額を公表 ☐ 企業名のみ公表	
(同意いただける項目に 印をお願いします)	当企業名及び寄附金額のいずれも非公開を希望される場合は事前にお問い合わせください。 同項事業の開催時については、国および横浜市内に対して所収と金額の報告を行います。 また、事業の完了に必要な範囲で、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と法人名・寄附金 額等の情報を共有する場合があります。	

寄附申込書（抜粋）

特に、「**会場運営関連**」へのご寄附をお願いいたします。

税制上の優遇措置を受けることができる寄付制度



寄附先		協会		横浜市	
名称		特定公益増進法人	指定寄附金	企業版ふるさと納税制度	
対象法人		全法人	全法人	本社が横浜市外にある企業(法人) ^{※1}	
税軽減効果		最大で約3割	約3割	最大で約9割	
法人	法人税	最大で約3割 損金算入^{※2} (上限あり) (資本金額の0.375% +所得金額の 6.25%) × 1/2	約3割 全額損金算入^{※2}	約3割 全額損金算入^{※2}	最大で4割 税額控除^{※3} (上限あり)
	法人住民税				最大で2割 税額控除^{※3} (上限あり)
	法人事業税				

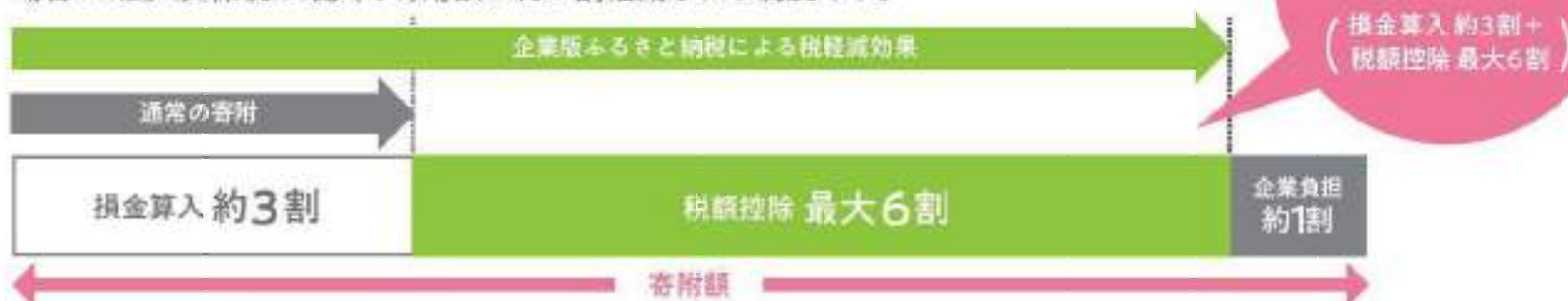
※1 企業版ふるさと納税は、横浜市内に本社が所在する企業について対象とならない。

※2 損金算入…寄附金額を必要経費に含めて計算し、算出される税額を下げること。

所得に対する「法人税＋法人住民税＋法人事業税」の実効税率が約30%であることから、寄附額の約3割の税額が下がる。

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは

本社が横浜市外にある企業(法人)様が横浜市の地方創生のプロジェクトへご寄附された場合に、法人関係税が最大で寄附額の約9割軽減される制度です。



税額控除のポイント

- ①法人住民税
寄附額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税
法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税
寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

留意事項

- ・1企業における1事業あたりの寄附は10万円からとなります。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・税額控除は、寄附を行った日が属する企業の事業年度に適用されます。

機運醸成のお願い

来場促進に向け、更に認知度を高めていくため、駅などの交通結節点、商業・サービス施設、郵便局、文化・スポーツ・レジャー施設などの人の目に付きやすい場所でのサイネージ、ポスター掲示等の機運醸成の取組をお願いします。

○ サイネージ、ポスター等の掲示

(1) 掲示先の登録方法

- ・デジタルサイネージ、ポスター（B1・B2サイズ）、チラシ（A4）、パンフレット（A4）の掲示可能先を下記のMicrosoft Formsから質問事項に沿って回答をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/F8zaPuxYS6>



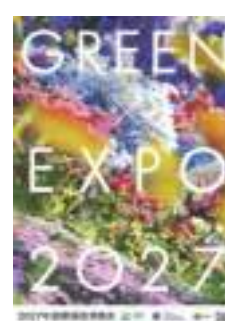
(2) 留意事項

- ・主要駅、SA/PA、道の駅、空港等交通結節点、大型商業施設、コンビニ等の人流の多い施設等へ優先して発送する予定です。予算の範囲で優先的に発送するため、発送ができないこともございます。ご了承ください。
- ・社内の配送ルートをご活用いただく等、送付先の集約にもご協力ください。

【デジタルサイネージ（動画・静止画）】

【紙ポスター】
（B1・B2サイズ）

【A4チラシ】



来場促進、機運醸成の取組

官邸における最近の機運醸成の取組



○ 首相官邸のトゥンクトゥンクの発話(R8.2.16)



リポスト2,630、いいね1.7万、
インプレッション264万

○ 1年前イベント・関係閣僚会議(R8.3.22)

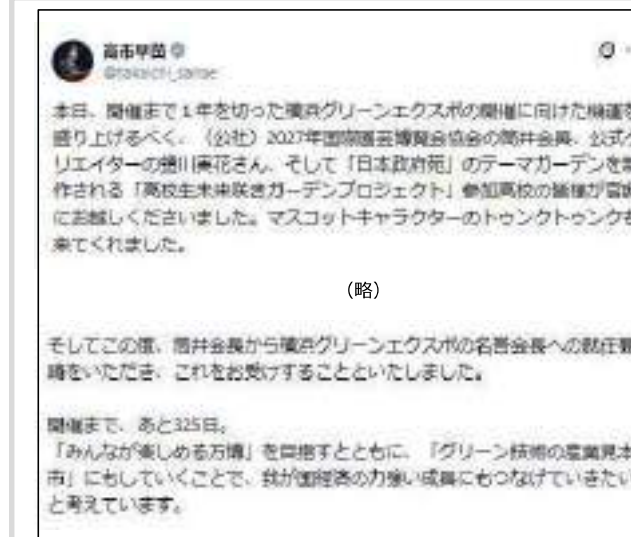
※リポスト数等：5/8時点



リポスト2,106、いいね1.6万、
インプレッション80万



○ 総理表敬(R8.4.28)



リポスト1,600、いいね1.4万、
インプレッション39万



機運醸成に向けた取組(農林水産省)①

- 農林水産省内全体でより一層、機運醸成に取り組んでいくために、2025年12月5日、根本副大臣をチーム長として、省内の有志職員による推進活動チーム「MAFF×EXPO 2027チーム（通称：まふすぼ）」を立ち上げ。
- メンバーが自由にアイデアを出し合い、**SNSなど各種媒体を通じた情報発信**のほか、**イベントや展示などの企画・検討**を加速化。

1.メンバー（R8.5.1時点）202名

本省職員 75名
地方農政局・県拠点等 127名
チーム長：根本農林水産副大臣
チーム長代理：官房審議官（技術・環境）
事務局：農産局園芸作物課



SNS（X、Instagram）



メンバーによる自由な発想により、GREEN×EXPO 2027に絡めた内容の投稿を実施。

2.取組例

①：折り紙トウクトウク ②：大臣会見でのPR



折り紙トウクトウクを「まふすぼ」メンバーが制作するとともに、X投稿を通じて、GREEN×EXPOに関心を持つ一般市民と連携した機運醸成を推進。



大臣会見にてお花の装飾を実施し、大臣から、お花の産地や生産者の思い等の紹介、機運醸成への意気込み等を発言。

③：省内食堂等でのコラボ



省内の食堂・売店・生協と連携し、“食”を通じたPRを実施。食堂では横浜市産野菜を使用した野菜炒め定食や、エディブルフラワーを使用したメニューを提供。

④：花き農家取材



花き農家を訪問して、生産のこだわりやGREEN×EXPO 2027への思い等取材し、記事を発信。

⑤：漁業取締船でのPR



停泊中の漁業取締船（水産庁所管）の電光掲示板を活用し、全国各地の港においてPRを実施。

機運醸成に向けた取組(農林水産省)②

●最近のイベント実績

- ・「第76回 全国植樹祭えひめ 2026」(5/17)
: SNSフォローでブルーミングリング、フラワーカードを配布。チラシ300枚配布。
- ・「第21回食育推進全国大会inとちぎ」(6/6)
※来年度の大会はGREEN×EXPO 2027会場内で実施
: トウクトウクグリーティング、引継ぎ式にトウクトウクが出席、
SNSフォローでブルーミングリング、フラワーカードを配布。チラシ300枚配布。



第76回全国植樹祭えひめ



第21回食育推進全国大会inとちぎ

●SNSでの発信

- ・「農林水産省【公式】GREEN×EXPO 2027」X、Instagramでの発信
- ・農林水産省公式YouTube BUZZ MAFF「花いっぱいプロジェクト」での発信

●広報誌等での掲載

- ・海外向け政府広報「HIGHLIGHTING Japan」春の特別号において、
GREEN×EXPO 2027の記事を掲載
- ・2027年国際園芸博覧会関係者インタビューシリーズ(農協新聞)掲載



海外向け政府広報
「HIGHLIGHTING
Japan」春の特別号



インタビューシリーズ(農協新聞)



3月19日投稿
開催1年前記者発表会後の発信



5月1日投稿 片山大臣と鈴木大臣と
官邸のしゃべるトウクトウクの動画



SNSによる発信